

2015 ゴルフダイジェスト・スクランブルゴルフ



GOLF DIGEST
**SCRAMBLE
GOLF**

< 競技規則 >

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則と大会ローカルルールを適用する。

2. 使用球

競技者の使用球は日本ゴルフ協会発行による最新の「公認球リスト」に記載されているものでなければならない。

3. ホールとホールの間での練習

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。この条件の違反の罰は、次のホールに2打、最終ホールにおいての違反の罰はそのホールに2打が付加される(カップインした時点でそのホールのスコアは確定なので、次の人は打てないので要注意)。

ただし、9ホールを終了して待ち時間のある場合は、練習グリーンにおいてパッティングの練習をすることができる。

4. タイスコアの場合

18ホール終了後、タイスコアの場合は、①イーグル数②バーディ数の多い順から上位を決定する。それでも決定しない場合は③3名のチーム④女性の人数が多いチーム⑤18番ホールからのカウントバックにより確定する。

5. プレーの一時中止と再開

- (1) プレーの一時中止(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則6-8b、c、dに従って処置すること。
- (2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが一時中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいるときには、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレー途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。(ゴルフ規則6-8b注)

(3) プレーの一時中止と再開の合図について

中止、再開の合図はゴルフ場によって異なるので、険悪な状況になった場合はゴルフ場からの案内に注意すること。

6. 険悪な気象条件のため競技が中止になった場合

競技中止の時点で9ホールを消化していれば競技成立、消化していなければ不成立とする。なお、9ホールでの競技成立の場合は、アウトスタート・インスタート各々の最少スコアチームを上位とする。タイスコアが発生した場合は、アウトスタートは9番、インスタートは18番からのカウントバックにより上位を決定する。但し、この処置が実行される場合は「1人最低4ホール(3人の場合は5ホール)のティショットを選択する」という制限は適用しないものとする。

7. チーム内(4人)の1人が棄権した場合

プレーの途中でチームを構成する1人が不慮の事故や病気等によって途中で棄権した場合、①・②の条件を満たしていれば正式記録とする。

①残りの3人で5ホールの子ショット選択をクリアしてホールアウトする

②棄権する選手が4ホールの子ショット選択をクリアしている。

但し、棄権者によって構成メンバーが2名になった場合は、そのチームのスコアは参考記録となる(2人でプレー続行しても構わない)。

8. 競技終了時点

本大会は、競技委員長による成績発表がなされた時点で終了となり、その後の変更はしない。ルール処置・その他疑問がある場合は、アテスト終了までに申告すること。

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、委員会の裁定は最終である。

【競技方法】

スクランブル方式による18ホールストロークプレー、スクラッチ競技

全員が子ショット(下記参照)を打つ。セカンドショット以降はその中からチームとしてベストポジションと思われるボールを選択し、その地点(選択されなかったボールはすみやかに各自がピックアップし、その地点へ持ってくる)から、また全員が打つ。それをカップインまで繰り返していくシステム。

(1)子ショットの制限

子ショットにおいては、18ホールの内、1人最低4ホール(4ホール×4人=16ホール)を選択しなければならない(3名プレーの場合は1人最低5ホールとする)。残りの2ホール(3名の場合は3ホール)は、チーム内の誰の子ショットを選択しても構わない。ホールアウトの時点でこの条件をクリアできなかった場合は、1ホールにつき2打を付加する。

- ・ 注1)第1打において全員が「OB」の場合は、まず、誰のボールを選択したかを確認したうえで、第3打目として全員が子ショットをする。但し、女性がいる場合でレディスティから子ショットを打った後、全員が「OB」の場合は(初めに誰の子ショットを選択したかを決めて)レディスティより全員が第3打目を打つこと(男性4人チームでもレディスティから打つこと)。
- ・ 注2)第1打において全員が「ハザード」(ウォーターハザードおよびラテラル・ウォーターハザード)に入った場合は、まず、誰のボールを選択したかを確認したうえで、第3打目として全員が子ショットをする。

(※ただし、ローカルルールで特設ティグラウンドやドロップエリアを使わなければならないこともあり、第0打目というのも、ローカルルールに従うものとする)

(2)子ショット ~ グリーン

子ショット(男性と女性はティが異なる)は全員が打つ。セカンドショット以降は全員の中から1つのボール(チーム内で考えたベストポジション)を選択し、その地点にティペグ(マーク)を置く。そのマークを中心にカップに近づかない半径30cmの半円内に自分のボールをプレース(良いライにおくこと可。ボールは拭くことができる)して、全員が打つ。打順は、チーム内で決める。選ばれた人が先に打つ必要はなく、チーム内の順番は自由。それをグリーンオンまで繰り返す。

- ・ 注1)選択されなかったボールは、各自がすみやかにピックアップする

- ・注2) ラフにあるボールを選択したらラフに。バンカーならバンカー内にプレースする。ただし、ラフとフェアウェイの境のラフ側のボールを選択した場合には、半円内にフェアウェイがかかっても、ラフにプレースすること。バンカーの場合は、ショットごとに砂を均すことができる
- ・注3) ティペッグ(マーク)は最後の選手が打つまでその場に置いておくこと

(3)グリーン上

グリーン上では、選んだボールにマークする。そのマークはカップに向かってボールの右側にする。そして、カップ方向へ近づかない半径6インチの範囲内にプレースをし、順番にヒッティングする。打順は、チーム内で決める。はずした時は、近くても続けてヒッティングをせず、必ずマークをして次の人に譲る。チーム内の誰かがカップインすればホールアウト。スコアが確定する。

- ・注1) 選択されたボールのマークは、最後の選手が打つまでその場に置いておくこと
- ・注2) 練習ストロークは絶対禁止、発覚したら2打罰となる。

【大会ローカルルール】

1. アウト・オブ・バウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭又は、白線をもってその限界を標示する。
3. ウォーターハザードは、大会ローカルルールで指定する場合を除き、黄杭又は黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭又は赤線をもってその境界を標示する。
4. 排水溝は動かせない障害物とする。
5. 人工の表面をもつ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。
球がこのカート道路の上にある場合、競技者はゴルフ規則24-2b(i)を適用しなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2打。
7. 使用禁止の表示のある予備グリーン(カラーを含む)がある場合は、プレー禁止の修理地(スルー・ザ・グリーン)とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合、競技者は25-1b(i)を適用しなければならない。
8. 樹木保護のための巻き網は樹木の一部とみなすが、球がその巻き網に挟まって止まった場合は、罰なしにその直下の地点から1クラブレングス以内で、且つホールに近づかない個所に球をドロップすることができる。取り出した球は、拭くことができる。
すぐには取り戻せない場合は別の球に取り替えることができる。
9. グリーン上に球がある時はパター以外のクラブの使用を禁ずる。
但しパターが破損し使用不可能な時はその限りではない。
10. スルー・ザ・グリーンにおいて、新しい張り芝の継ぎ目(目地)に球があるか、それに触れている場合、または意図するスイングの区域の妨げになる場合は、規則25-1bによる救済を受けることができる。張り芝の区域内のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目とみなす。
11. 距離計測機器などの人工機器を使用できる。
12. その他、ローカルルールに追加・変更がある時はクラブハウス内に掲示するので各自、スタート前に必ず確認すること(ゴルフ規則6-1)。
13. コールオン方式。パー3のホールに限り、プレーのペースを全体的にスピードアップするため、

先行組のプレーヤーは、自分の組の誰もまだパットを始めていない段階で後続組のプレーヤー全員がティーインググラウンドまで来ている場合、グリーン上にある球の位置をマークして総て拾い上げ、後続組のプレーヤー全員がティーショットを済ませるまでプレーを控え、後続の組にティーインググラウンドからプレーさせることができる。先行組からプレーすることを求められ、後続組がそれに応じたときは、その段階で後続組の各プレーヤーは、自分の球が他のプレーヤーのプレーを妨げたり援助することになりそうだと思うときは何時でもその球を拾い上げて良い、との許可を先行組に与えたものとみなす。

【賞典】

- (各地区予選) 参加者全員にGDオリジナル参加賞
- (全日本決勝) 上位5チームには表彰・副賞を贈呈
- (全日本決勝) 上位3チームには翌年の全日本決勝のシード権を授与

【競技上の注意事項】

1. 地区予選に4名で出場した場合・・・
 - 3名を固定とし、全日本決勝にて1名のみ選手交代が可能。地区予選に3名で出場した場合・・・
 - 3名はそのまま固定とし、全日本決勝で1名の追加参加が可能。例1) 予選参加時チーム構成 【Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの4名】
全日本決勝チーム構成 【Aさん、Bさん、Cさん、Eさんの4名】
※予選参加時の3名は必須
- 例2) 予選参加時チーム構成 【Aさん、Bさん、Cさんの3名】
全日本決勝チーム構成 【Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの4名】
※予選参加時の3名は必須
2. 競技の条件またはローカルルールに追加・変更がある時はクラブハウス内に掲示する。
3. 練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱とする。
4. スタート時刻10分前には必ずティーインググラウンド側にて待機すること。スタート時刻に遅れた場合にはスタートホールに2ペナルティを課すか、または、失格というケースもありうる。スタート説明を受けずにスタートすることはできない。
5. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に空けないよう注意のこと。
プレーの不当な遅延については、ペナルティを課すことがある。
6. ハーフターンでの練習は、練習グリーンのみとする。
7. コース内に携帯電話の持ち込みをしない。
8. 最近主流の素振り棒・スタンス棒などは異常な用具(規則14-3)に該当するので、使用できない。
9. ペアリング(ドロー)は大会事務局が決定する。当日諸般の事情により、ドローの変更もありうる。
10. ギャラリーの入場は禁止する(1・10番ティーインググラウンド、9・18番グリーンのみ可)。

【注意事項】

- ・エントリーフィ入金後は、いかなる理由でも返金できません。
- ・エントリー終了後の参加会場の変更はできません。
- ・各地区決勝以降の大会において、通過者が出場を辞退した場合、およびエントリー締切りまでにエントリーされなかった場合、出場を辞退したものと見なし、次チーム(該当地区)から順次繰上げ、または他会場のスコア上位チームとする。
- ・18歳以下のジュニアゴルファー(高校生以下)は親の承諾を得てから、申し込むこと。
- ・大会中に発生した傷害、事故等について応急処置のほかは、主催・協賛・協力の各団体は一切責任を負いません。
- ・日本国刑法に問われている者、或いは現在、過去において暴力団に関係する者及びこれらに準ずると判断される者は、本競技の参加を認めません。
- ・本競技の品位を損なう行為があった場合は、プレー中であっても即刻、競技への参加を取り消します。
- ・参加者の顔写真および氏名等を使用する権利は大会事務局に帰属させていただきます。
- ・お申込みされた方の個人情報、大会に関する連絡に利用させていただき、他、ゴルフダイジェスト社より、イベント・販売物・出版物等の資料送付に利用させていただくことがあります。
- ・申込みされた方の個人情報はゴルフダイジェスト社が責任を持って管理し、業務委託以外の第三者に開示・提供することはありません(法令などにより開示を求められた場合は除く)。

【大会内容についての問い合わせ】

■ゴルフダイジェスト《スクランブルゴルフ》事務局
TEL:03-3432-1488 (平日10:00~17:00)

【エントリーについての問い合わせ】

■スポーツエントリー内《スクランブルゴルフ》事務局
TEL:0120-711-951 (平日10:00~17:30)